

弥富市洪水ハザードマップ

早めの避難をしましょう!

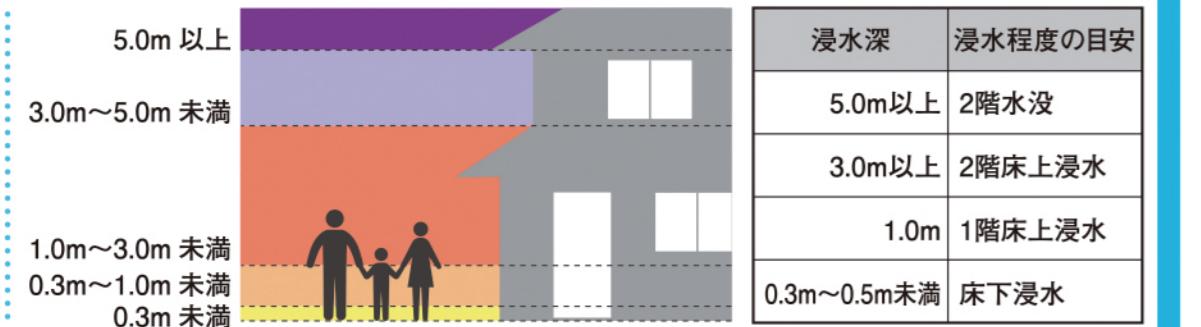
命を守る行動の決断はあなたしかできない!

マップの使い方

洪水ハザードマップは、水防法に基づき河川管理者(国又県)が作成した洪水浸水想定区域図を河川毎に表示したもので

予測される 浸水の深さ

ご自宅の
浸水の
深さを確認
しましょう。



風水害の警戒レベルと避難行動

災害発生の危度を直感的に理解し、的確に避難行動ができるようにするため、避難に関する情報や防災気象情報等の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いて発表されます。

- ⑤ 緊急安全確保※1 命を守る最善の行動を!
警戒レベル4までに必ず避難!
- ④ 避難指示※2 危険な場所から全員避難
- ③ 高齢者等避難※3 危険な場所から高齢者らは避難
- ② 大雨・洪水・高潮注意報(気象庁) 自らの避難行動を確認
- ① 早期注意情報(気象庁) 災害への心構えを高める



※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベルは必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

河川の危険を知る情報

| | |
|---------|--------------------------|
| はん済危険水位 | いつ河川がはん済してもおかしくない状態 |
| 避難判断水位 | 一定時間後にはん済する危険がある状態 |
| はん済注意水位 | 水位の上昇が見込まれ、はん済の発生を注意する状態 |
| 水防団待機水位 | 水防団が水防活動の準備を始める状態 |
| 平常 | どの基準水位にも達していない状態 |

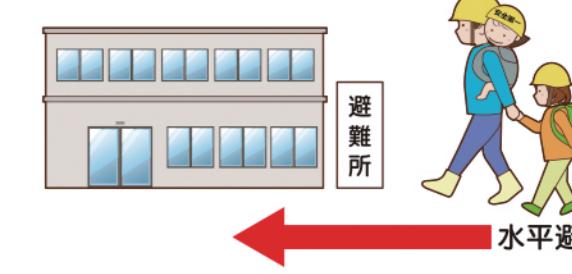
河川ごとの洪水予報と避難行動 気象庁は、あらかじめ指定した河川の水位や流量から「指定河川洪水情報」を発表します。水防活動や避難行動を判断する際の参考にしてください。

| | |
|---------|---|
| はん済発生情報 | はん済が発生。避難が遅れると自宅や近くの安全な建物の2階以上に避難しましょう。 |
| はん済危険情報 | はん済危険水位に到達。避難行動を行い、身の安全を確保してください。 |
| はん済警戒情報 | 避難判断水位に到達。さらに上昇する危険があるため、早めに避難準備をしましょう。 |
| はん済注意情報 | はん済注意水位に到達。今後、河川の水位上昇が見込まれるため、注意が必要です。 |

大雨のときはこんな点に注意しよう

避難の考え方

避難とは「災難を避ける」ことであり、場合によっては避難場所には行かず、今の場所にとどまることもあります。避難場所への避難を原則しながら切羽詰まった状況であれば、垂直避難や屋内避難も有効な避難方法です。



安全な場所へ避難(水平避難)

(避難所、親戚の家など)
すべての避難所を開設するわけではありません。
避難する前にどの避難所が開設されているか、市ホームページ等で確認してください。
また、避難所へ行くのが距離あります。避難所以外に被害が及ばない「親戚宅・知人宅への避難」、「安全な場所での車中泊(車中泊)」なども検討しておきましょう。

建物内の安全な場所で待機(屋内避退)



頑丈な建物の2階以上または、近隣の高い建物へ避難(垂直避難)

河川・水路沿いの道は避けて避難しましょう。
大雨により、側溝やマンホールの蓋が外れている場合があるので、十分に注意しましょう。

安全な経路で避難しよう

河川・水路沿いの道は避けて避難しましょう。
大雨により、側溝やマンホールの蓋が外れている場合があるので、十分に注意しましょう。

隣近所へ声をかけ合おう

高齢者、障がいのある方、乳幼児などは避難に時間がかかるため、早めの避難が必要です。
洪水時には地域の皆さんで協力して安全に避難しましょう。

領内川浸水想定区域図(想定最大規模)

